和製グランドキャニオンから小富士山ハイキング報告

【日時】　11 月 5 日（日）快晴

【参加者】CL 菊池・寺崎・清野・杉山・井上（里）・加藤（記）・　菅井・村尾・松本(剛)、神崎

【コース】道の駅「すばしり」集合―アザミライン―旧馬返バス停の少し上部：グランドキャニオン入口（1410m）8:50―和製グランドキャニオン―小富士（1970m）－須走五合目―旧登山道－グランドキャニオン入口 14:00

【報告】

昭文社の地図には「グランドキャニオン」の記載はなく、富士山の須走口から東側に派生する深い水のない沢の一部を指す通称である。

道の駅「すばしり」にて日帰りメンバー４名と合流し、旧馬返しバス停の先に駐車する。「グランドキャニオン」の石の標柱があり浅い沢を越えて入山する。目の前に深く侵食された「グランドキャニオン」が存在した。新歓

２日目に行った富士山剣ヶ峰大沢岩樋部と比べると幅広く沢床は火山礫に覆われ、両側の壁は岩盤でなく侵食された黒い地層の断崖となっていて深さは 50m 以上もある。対岸には黄金色のカラマツがあり、青空によく映えていた。

沢床に降り立つとその雄大な景色に圧倒された。フジアザミ(枯れていた)、動物の骨もあり、軽石や砂の緩い傾斜の U 字溝のような沢を 500m も歩くと二股となり岩がゴロゴロした左股を直進した。やがてトラロープと土嚢のある踏み跡を発見し、沢から離れて旧登山道へ登りあげた。

ツェルトの講習

旧登山道は富士山五合目に向かう車道のそばにあり、踏み跡は明瞭でピンクのテープもある。狩休バス停(二合目)から再びグランドキャニオンに入り斜面をトラバースして沢床に下るとカモシカを２頭見つけた。小富士には対岸を登りつめオレンジ色のカラマツ林を抜けて富士山がよく見える斜面をひたすら登る。初冠雪を迎えたはずの富士山には全く雪は見えなかった。やがて砂礫の急斜面となり山中湖、河口湖も見えてきた。

風が強く寒いが樹林帯の向こうにある小富士山頂には観光客も見受けられた。さらに樹林帯の遊歩道を抜けると駐車場、土産物店のある五合目である。神社にお参りした後、すぐ下山する。旧道なので人はあまり入っていないが、テープや踏跡に注意して下った。駐車

スペースに辿り着き、渋滞も予想され,14:00 には現地を出発したが、千葉に戻ったのは:00
であった。

新人の感想

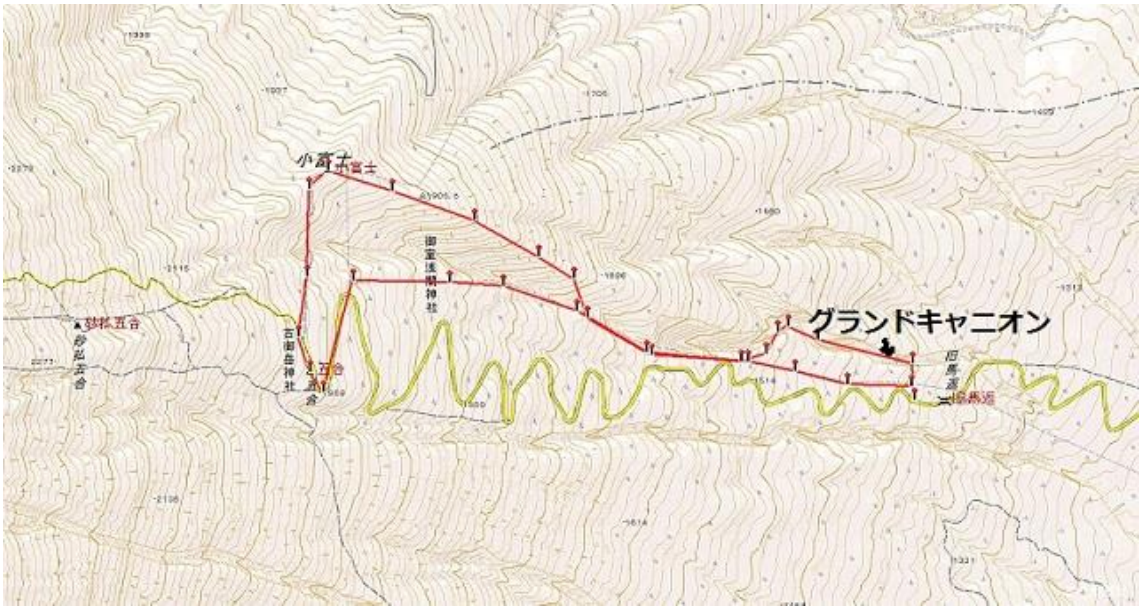
11 月 5 日（日）ちば山に入会して初めての山行に出かけました。場所は小富士。菊池CLはじめ総勢 10 名のチームで行きました。

当日の天候は快晴。雲一つない絶好のハイキング日和となりました。須走馬返しから入山しまずは和製グランドキャニオン。火山灰層が堆積し断崖絶壁のようになって連なる様はまさに圧巻の一言でした。高さが 50m近くなるところもあるとのことでした。そしてコメツガやダケカンバの林を抜けボンと明るい砂礫の場所へ。砂礫に足が取られ歩きにくい。ここでは少し苦戦しました。そして頂上へ。頂上で受けた風はとても爽やかで最高に気持ち良かったで
す。

それにも増して菊池CLはじめ 8 名の仲間と楽しく登れたことが最高の思い出になりました。菊池CL並びに 8 名のみなさんほんとうにお世話になりました。また登れたら最高だなって思います。機会があればまた是非ご一緒させてください。村尾さん今度はもう少しクルマ運転します（笑）。

初めての山行がとても楽しいものとなりました。このような山行にどんどん参加して行きたいと思っています。どうぞみなさん今後ともよろしくお願いいたします。

神崎

今まで３回低山に登りましたが、どれも、ひたすら木々に囲まれた暗がりのなかを歩き、
最後の頂上付近でやっと景色が見渡せるような所ばかりでした。
今回は、グランドキャニオンのような絶景ポイントに始まり、カモシカも見れ、紅葉のカラマツの素晴らしさ、突然の歩き辛いカレバやこの時期の風の冷たさ。

色々な体験を一気にでき、とても贅沢な経験ができました。
また、何よりも沢山の仲間と話ながらの山行は楽しい気持ちになりました。
ますます山の魅力に取りつかれた思いです。　　松本